



Google Marketing Platform

-PREMIUMLETTER-

2023年4月3日号

～Google マーケティング プラットフォーム情報をいち早くお届け～

e-Agency

刊行：（株）イー・エージェンシー

#本内容は、Google社の発信情報をベースに、当社における追記編集を施した内容となります。
#本内容について、Google社からの変更、修正などがある場合がございますので、予めご了承ください。

e-Agency

CONFIDENTIAL



本PremiumLetterに記載する内容と、サポートからお送りする情報は、Google アナリティクス 360 ご契約の企業様（利用規約に記載している範囲内）にご提供可能な、Google社・弊社の機密情報です。

機密情報の取り扱いには十分にご注意いただくとともに、貴社外の方へのご共有についてはお控えいただけますよう、お願い申し上げます。

Google マーケティング プラットフォーム 最新情報のご案内

- [eAからのお知らせ]課題解決に役立つ！GA4を実践的に学べる新コンテンツを公開！



[アナリティクス]更新情報

- アイテムスコープのカスタムディメンションの作成が可能に
- カスタムチャンネルグループが登場
 - 標準レポートへの追加方法
- プロパティの作成上限が100個から2000個に
- Google広告連携時に、Google広告内でGA4のオーディンエンス機能が利用可能に
- Google Analytics Admin APIで「拡張データセット」の管理が可能に
- Google Analytics Data APIの割り当ての上限引き上げについて
- 関係者のIPアドレス除外時に正規表現が使えるように



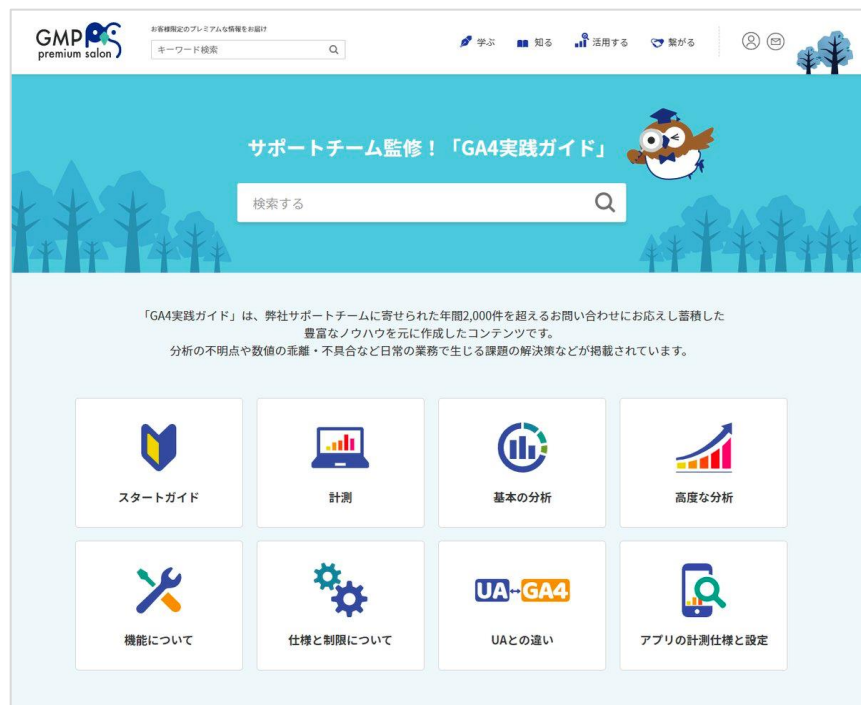
[Looker Studio]更新情報

- GA4接続時のeコマース指標の更新について
- レポート編集画面における検索時のアップデート

本PremiumLetterに記載された内容は、Google アナリティクス 360 ご契約のお客様のみにご提供するGoogle社の機密扱いの情報を含んでおります。
記載情報の取り扱いには十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。



課題解決に役立つ！ GA4を実践的に学べる新コンテンツを公開！



お客様なら無料でご覧いただけるプレミアムな情報サイト「GMP プレミアムサロン」に、新コンテンツ「GA4実践ガイド」を公開しました。

弊社サポートチームが監修した、分析の不明点や数値の乖離・不具合など日常の業務で生じる課題の解決策を掲載しております。

是非、貴社のデータ活用にお役立てください！

GA4実践ガイドはこちら

https://premium-salon.e-agency.co.jp/practice_guide/ga4

GMP プレミアムサロンのお申し込みはこちら

https://googleanalytics360-suite.e-agency.co.jp/gmp_premium_saloon/contact/premium_saloon-register

今すぐ
無料で登録！





アナリティクス



アイテムスコープのカスタムディメンションの作成が可能に①

順次リリース

ユニバーサル アナリティクス (UA) でも作成可能だったアイテムスコープのカスタムディメンションの作成が可能になりました。アイテムスコープのカスタムパラメータを送信することにより、事前定義されたパラメータ以外で、例えば、商品のサイズやカラー等、商品に紐づく様々な情報を計測することができます。

■ 必要な権限

プロパティの「編集者」権限

■ 作成上限

無償版プロパティ：10個、有償版プロパティ：25個

■ ご留意点

- ・現時点ではBigQueryエクスポートに含まれません
- ・DebugView上では表示されません
- ・UAにはアイテムスコープのカスタム指標がございましたが、GA4にはございません

ヘルプ：<https://support.google.com/analytics/answer/10075209>



アイテムスコープのカスタムディメンションの作成が可能に②

順次リリース

カスタムディメンションに必要なカスタムパラメータは、items配列内に記述ください。

※GA4の計測をGTMで行っている場合は、eコマース計測用のdataLayer、Googleタグ (gtag.js) で行っている場合は、eコマース計測用のイベントタグがサイトに実装されている前提です。また、dataLayerのitems配列内に記述すれば、GTMのGA4イベントタグでの追加設定は不要です。

```
items: [{  
  item_name: "T-Shirt",  
  item_id: "12345",  
  price: "5000",  
  item_brand: "e-Agency",  
  item_category: "Apparel",  
  item_variant: "Gray",  
  quantity: 1,  
  itemscope_cd: "size M"  
}]
```

【サイト側の設定】

アイテムスコープのカスタムパラメータを追記します。

例) アイテムスコープのパラメータ名 : itemscope_cd
※パラメータ名は一例です。必ずしも「item_」から始めなくても問題ありません。

ガイド : <https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/ecommerce>



アイテムスコープのカスタムディメンションの作成が可能に③

順次リリース

× 新しいカスタム ディメンション 保存

⚠ 固有の値が多いカスタム ディメンションを登録すると、レポートに悪影響が及ぶ可能性があります。カスタム ディメンションの作成に関するベスト プラクティスを実践してください。

[おすすめの方法の詳細](#)

ディメンション名 ② 範囲 ②

テスト_アイテムスコープ 項目

説明 ②

商品パラメータ ②

itemscope_cd

【GA4側の設定】

アイテムスコープのカスタムディメンションを設定します。

■ 設定箇所

GA4の左メニュー [管理] > プロパティ列 [カスタム定義] > [カスタム ディメンションを作成]

- ・ 範囲：項目

例)

- ・ ディメンション名：テスト_アイテムスコープ
- ・ 商品パラメータ：itemscope_cd (※)

※上記は p6 の例 (itemscope_cd) を設定しています。サイト側で出力した dataLayer の items 配列内に追記したアイテムスコープのパラメータ名を入力します。



ポイント!

設定完了後は、検証環境やGTMのプレビューモード等で問題ないことを十分にご確認の上、本番環境への反映やGTMの公開を行って頂くようお願い申し上げます。



アイテムスコープのカスタムディメンションの作成が可能に④

順次リリース

【レポート例】

アイテムスコープのディメンション・指標と、作成したカスタムディメンションを掛け合わせてデータをご確認いただくことが可能です。

変数	タブの設定	自由形式 1		
データ探索名: アイテムスコープのカスタ...	手法 自由形式	アイテム名	テスト_アイテムスコープ	↓アイテムの購入数
カスタム 3月1日~2023年3月30日	ビジュアライゼーション	合計		1 全体の100%
セグメント なし		1 T-Shirt	Size M	1

※注意点

アイテムスコープのカスタムディメンションを、標準レポートのセカンダリーディメンションに追加するとデータが表示されなかったり、標準レポートのカスタマイズのディメンションとして選択できないといった事象が見られており、Google社へ確認中です。アイテムスコープのカスタムディメンションのご確認は、探索レポートをご利用ください。



カスタムチャンネルグループが登場①

順次リリース

UAに引き続いて、GA4でもカスタムチャンネルグループの作成が可能になりました。これにより、**ユーザー独自のカスタムチャンネルを使用した分析を行えます**。カスタムチャンネルグループは、標準レポートやデータ探索、オーディエンスで利用可能です。

GA4 左メニュー [管理] > プロパティ列 [データ設定] > [チャンネルグループ] にて、カスタムチャンネルグループの管理が可能です。

■ 必要な権限

- ・プロパティの「編集者」権限

■ 制限

- ・無償版：2個、有償版：5個
- ・無償、有償問わず、グループ内に作成できるチャンネルは最大25個まで

The screenshot shows the '【テスト】カスタムチャンネルグループ' (Test Custom Channel Group) configuration page. It includes a 'グループを保存' (Save Group) button at the top right. The main section is titled 'チャンネルグループの詳細' (Channel Group Details) and contains two input fields: 'グループ名' (Group Name) with the value '【テスト】カスタムチャンネルグループ' and '説明 (省略可)' (Description (Optional)). Below this is a 'チャンネルリスト' (Channel List) section with a search bar and a '新しいチャンネルの追加' (Add New Channel) button. The list contains two entries:

順序	チャンネル名	
1	Google検索	> ⋮
2	ヤフー検索	> ⋮



ポイント！

UAでは、ビュー単位、または個人単位（他ユーザーに影響しない）での作成が可能でしたが、GA4ではプロパティ単位の作成のみとなります。また、GA4では、デフォルトチャンネルグループの編集はできません。



アナリティクス

カスタムチャンネルグループが登場②

順次リリース

カスタムチャンネルグループの仕様詳細をご案内いたします。

- ・チャンネル作成時に利用できる条件は以下の通りです。
「デフォルト チャンネル グループ」「参照元」「メディア」「キャンペーン名」「キャンペーン ID」
「参照元プラットフォーム」
- ・作成したどのチャンネルにも一致しない場合は「Unassigned」へ自動的に振り分けられます。
- ・現時点では、**Looker Studio、BigQuery**で使用できません。
- ・カスタムチャンネルグループ作成前に計測した過去データにも遡って適用されます。
- ・カスタムチャンネルグループの設定が完了すると、
ユーザー、セッション、イベント単位で**スコープが異なるディメンション**が作成されます。
例) 作成したカスタムチャンネルグループ名：【テスト】カスタムチャンネルグループ
 1. 最初のユーザー「【テスト】カスタムチャンネルグループ」（ユーザースコープ）
 2. セッション「【テスト】カスタムチャンネルグループ」（セッションスコープ）
 3. 【テスト】カスタムチャンネルグループ（イベントスコープ）参考ヘルプ：<https://support.google.com/analytics/answer/11080067>

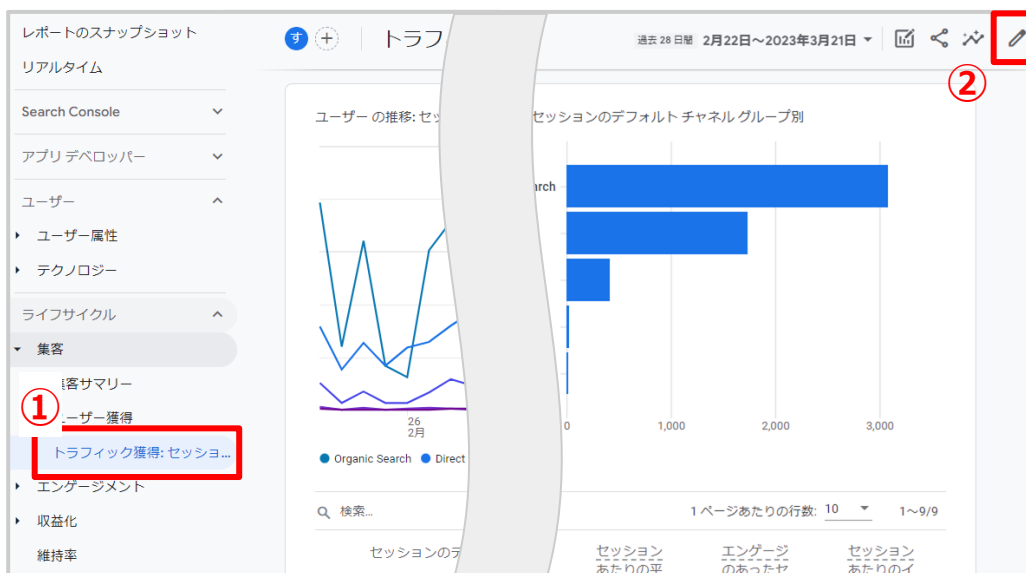
ヘルプ：<https://support.google.com/analytics/answer/13051316>



カスタムチャンネルグループが登場 - 標準レポートへの追加方法 -

順次リリース

作成したカスタムチャンネルグループを標準レポートで使用する場合は、レポートのディメンションに追加する必要があります。本項では追加手順をご案内いたします。



例)

トラフィック獲得レポートに追加する

追加手順

- ① レポート一覧から、トラフィック獲得レポートを選択します。
- ② 既存のレポートを編集する場合は、レポート右上の鉛筆マークを押下します。



カスタムチャンネルグループが登場 - 標準レポートへの追加方法 -

順次リリース

③[レポートデータ] > [ディメンション] にて、作成したカスタムチャンネルグループを追加します。

例) セッション「【テスト】カスタムチャンネルグループ」

④[保存] > [現在のグラフへの変更を保存]します。
※レポートのカスタマイズ画面からの変更は、レポートを利用する全ユーザーに変更が反映されません。

⑤以上で、トラフィック獲得レポートのディメンションで、カスタムチャンネルグループが使えるようになります。



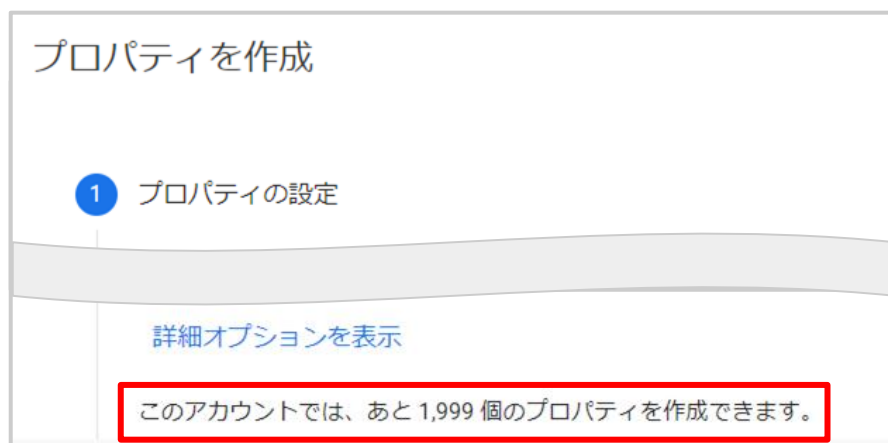
プロパティの作成上限が100個から2000個に

リリース済

これまでGAアカウントあたりのプロパティ作成上限はデフォルトで100個でしたが、全てのGAアカウントを対象に、デフォルトの上限が**2000個まで引き上げられました**。このアップデートにより、プロパティの上限数を気にすることなく、ご要望に沿ったアカウント構造の実現が可能になりました。

■サブプロパティ、統合プロパティの作成上限について

- ・ 通常のプロパティ毎に作成できるサブプロパティの作成上限は400個です。
- ・ サブプロパティ、統合プロパティはプロパティの作成上限2000個に含まれます。
- ・ 統合プロパティに含められる参照元プロパティの上限は50個です。



◀プロパティの作成画面

GAアカウント毎に作成できるプロパティの残数をご確認いただけます。

ヘルプ : <https://support.google.com/analytics/answer/9303323>



Google広告連携時に、Google広告内でGA4のオーディエンス機能が利用可能に①

今後リリース予定

今後数か月以内に、Google広告内でGA4のオーディエンス機能が使えるようになる予定です。この機能を実現するために、権限部分が先に更新されました。既にGoogle広告と連携している場合も含め、GA4とGoogle広告連携時に、Google広告のユーザーへGA4の権限が自動的に付与されます。なお、自動的にGA4の権限が付与されたGoogle広告ユーザーは、**実際にGA4のレポートにアクセスできるわけではありません**のでご安心ください。

■ Google広告連携時の設定画面



◀ Google 広告内からアナリティクス機能へのアクセスを許可する
デフォルトは有効です。Google 広告の「標準」権限以上の方が、今後Google広告内でGAのオーディエンス機能を使用できるようになります。Google広告のユーザーに上記機能を使用させたくない場合は、無効にしてください。

ヘルプ : <https://support.google.com/analytics/answer/9379420>



Google広告連携時に、Google広告内でGA4のオーディエンス機能が利用可能に②

今後リリース予定

Google広告連携後は、「プロパティのアクセス管理」にて権限の確認が可能です。

■プロパティのアクセス管理

GA4 左メニュー [管理] > プロパティ列 [プロパティのアクセス管理] を選択する。

名前 ↑	メール	役割とデータ制限 ②
Google 広告アカウント 600-980-3184 のお支払い情報権限	-	閲覧者
Google 広告アカウント 600-980-3184 のメール専用権限	-	閲覧者
Google 広告アカウント 600-980-3184 の標準権限	-	マーケティング担当者
Google 広告アカウント 600-980-3184 の管理者権限	-	編集者
Google 広告アカウント 600-980-3184 の読み取り専用権限	-	閲覧者
佐藤郁弥	fumiya.sato@dragon.jp	組織管理者, 管理者

Google広告アカウント関連のユーザーが追加されていることが確認できます。
(Google広告アカウント側ユーザーのメールアドレスを見ることはできません)



Google Analytics Admin APIで 「拡張データセット」の管理が可能に

リリース済

Google Analytics Admin APIで、標準レポートで表示される（other）の回避策である
「拡張データセット」の作成、更新、削除等が可能になりました。なお、本APIはアルファ
版のため、今後機能が変更される可能性がございますので、予めご留意ください。

具体的なご利用方法は下記ガイドをご参照ください。

デベロッパーガイド：

<https://developers.google.com/analytics/devguides/config/admin/v1/rest/v1alpha/properties.expandedDataSets>





Google Analytics Data APIの割り当ての 上限引き上げについて

リリース済

Google Analytics Data APIの一部の割り当ての上限が引き上げられました。大幅な上限引き上げではありませんが、例えば、「1プロジェクト、1時間あたり」の制限に抵触していたLooker Studioのレポートでは、エラーが出にくくなりました。

■ 上限が増えた割り当て（無償版：1,250 ⇒ **1,750**、有償版：12,500 ⇒ **17,500**）

- ・ 1時間あたりのプロパティあたりのプロジェクトあたりのコア トークン
- ・ 1時間あたりのプロパティあたりのプロジェクトあたりのリアルタイム トークン
- ・ 1時間あたりのプロパティごとのプロジェクトごとのファンネル トークン

残りのトークン			
データソース	1日あたり	1時間あたり	1プロジェクト、1時間あたり
有償版プロパティ	249994	49994	17494
無償版プロパティ	24977	4993	1735

◀ Looker Studioの「Google アナリティクス (GA4) トークンの使用状況」の画面

デベロッパーガイド（英語のみ更新）：

<https://developers.google.com/analytics/devguides/reporting/data/v1/quotas>



関係者のIPアドレス除外時に正規表現が使えるように リリース済

GA4にて、社内等の特定のIPアドレスからのアクセスを除外する際は、そのIPアドレスを基に、内部トラフィックを定義する必要があります。今回のアップデートにより、**正規表現を使って、IPアドレスをまとめて指定できるようになりました。**

■ 「内部トラフィックの定義」

GA4 左メニュー [管理] > プロパティ列 [データストリーム] > ウェブストリームを選択 > [タグ設定を行う] > [すべて表示] > [内部トラフィックの定義] > **マッチタイプに「正規表現」を選択する。**

内部トラフィックルール作成 | test.com | G-5CV2F4D3HH

内部トラフィックとして識別するトラフィックを定義します。一致する IP アドレスの外部からのトラフィックには、「traffic_type」の値とともに付加されます。詳細

設定

ルール名

traffic_type の値

IP アドレス
IP アドレスが正規表現に一致

値



ポイント！

「内部トラフィックの定義」を設定しただけでは、内部トラフィックは除外されません。「データフィルタ」で、内部トラフィックを除外するフィルタの設定が別途必要です。詳細な手順はヘルプページをご覧ください。

ヘルプ : <https://support.google.com/analytics/answer/10104470>



Looker Studio



Looker Studio

GA4接続時のeコマース指標の更新について

リリース済

GA4側で使えるeコマースの指標に沿って、Looker Studio側で使用できるeコマース指標がアップデートされました。

■新しく使えるようになった指標

「カートに追加されたアイテム数」「決済されたアイテム数」「閲覧されたアイテム数」「リストでクリックされたアイテム数」
「リストで閲覧されたアイテム数」「プロモーションでクリックされたアイテム数」「プロモーションで閲覧されたアイテム数」

■名称が変更された指標（旧名称⇒新名称）

「アイテムの表示回数」⇒「アイテムのビューイベント数」
「アイテムリストのクリック数」⇒「アイテムリストのクリック イベント数」
「アイテムリストの閲覧回数」⇒「アイテムリストのビューイベント数」
「アイテム プロモーションのクリック数」⇒「プロモーションのクリック数」
「アイテム プロモーションの表示回数」⇒「プロモーションのビュー数」
「商品の購入数量」⇒「アイテムの購入数」



ポイント！

作成済みのレポートで上記の指標を使う場合は、データソースを更新する必要があります。更新方法の詳細は、ヘルプページをご確認ください。

ヘルプ : <https://support.google.com/looker-studio/answer/7083608>



Looker Studio

レポート編集画面における検索時のアップデート

リリース済

レポート編集画面において、データパネルの検索画面のUIが改善されたことにより、検索結果が分かりやすくなりました。

はじめに

データパネルの項目をキャンパスにドラッグすると、新しいグラフを追加できます。レポートキャンパスのコンポーネントを選択すると、そのコンポーネントを編集できます。

データ	フィールド数
【GA4】 360サイト	2
国	2
国 ID	2
集計用 - シート1	0
一致するフィールドがありません	
Search Console https://googleanalytics360-suite.e-agency.co.jp/	0
一致するフィールドがありません	
【GA4】 eAサイト	0
一致するフィールドがありません	

◀アップデート箇所

- ①検索キーワードに一致したフィールド数が表示されるようになりました。
- ②検索キーワードに一致した部分が太字で表示されるようになりました。
- ③検索キーワードに一致したフィールドが存在しない場合、その旨が表示されるようになりました。

いつもGoogle マーケティング プラットフォーム をご利用いただき誠にありがとうございます。
サービスご利用にあたり、ご不明点・ご相談等ございましたらお気軽にご相談ください。
日々サービスの向上に努めてまいる所存ですので何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社イー・エージェンシー
Google マーケティング プラットフォーム 専任チームスタッフ一同